



八景中学校だより

# 四季彩

第4号

平成29年5月25日

三田市立八景中学校

ひとつの小さなこと

校長 谷本 正弘

「中学生の道徳」(発行:あかつき)の中にある、大仏(おさらぎ)次郎作『小さなこと』という資料を読みました。

・・・この世に生まれてきて、自分は何も他人のためにできなかったことをある時考えてから、そのうちふと、どこへ行っても便所のぞうりを、あとから来た者が はきよいように向きを考えてそろえて脱いで出てくることにした。これは他人に知られずに他人のためになることなので、それ以来どんなに酔っているときも忘れないで、そうすることにして十年余りになる。自分が死ぬまで、これだけは続けるつもりなのだ。・・・このごく小さいしつけが、ほかのことでわたしを支配しているように思う。ひとつの小さいことでも、必ずやることと決めて行っていると、ほかのことで不親切にできなくなるものらしい。・・・考えているより、何か始めることがたいせつのである。

先日の全校集会で、トイレのスリッパについて話をしました。思いやりの心は形として表れます。人を笑顔にできる、小さなことを続けられる、見えないところでも人のために行動できる、そんな人であってほしいと願います。

## 礼に始まり礼に終わる

武道には「礼に始まり、礼に終わる」という言葉があります。ただ挨拶をすればよいということではなく、「私の稽古や試合の相手をしていただき感謝します」という、相手への感謝と敬意の大切さを説く言葉です。3年生は5月28日、2泊3日の修学旅行に出発します。また、2年生は6月5日から5日間、トライやる・ウィーク(78事業所)で社会体験をさせていただきます。ともに多くの方のお力に感謝をしなければなりません。皆が笑顔になれる。皆を笑顔にできる。そして、出会う人も笑顔にできる、素晴らしい旅行や活動になることを期待しています。

## 2年生マナー講座より

5月9日(火)6校時、トライやる・ウィークの事前指導として、マナー講座を実施しました。MC(司会)やセミナー講師、ハニーFMなどでご活躍中の樽口知加さん(マナージュ代表)に挨拶をはじめ、お辞儀の仕方など社会で必要なマナーについてお話をいただきました。トライやる・ウィークに向け、自信とともに意欲を高めることができました。ありがとうございました。

## 生徒感想

・私は人前に出て、はっきりと話すことが苦手なので、この講演を聞いてしっかりと人前で話せるように頑張ろうと思いました。あと、私が一番印象に残ったのが、第一印象は3～5秒で決まるということと、第一印象をくつがえすためには7～8回会わないといけないことです。この話を聞いて頑張らないといけないと強く思いました。挨拶もしっかりして印象を良くするためにも日々の生活でも活かそうと思いました。

・一番、私が心がけようと思うのは、お辞儀をする時、頭を下げるのではなく、心を傾けるという意識をもってしようと思います。

・魔法の言葉「ハッピー、ラッキー、ウィスキー!クッキー、ミッキー、フナッシー!」を唱えて笑顔を作り、事業所の皆様により第一印象をもってもらえるように頑張りたいと思いました。

